

ケアマネジャーのお仕事サポート

テーマ

「適切なケアマネジメント手法」実践するために
一部改正された課題分析標準項目(23項目)との関連を考える。⑪

アセスメントから課題分析する課題分析標準項目(23項目)は、必須ですよね。

2025年3月号から標題にある、一部改正された課題分析標準項目(令和5年10月16日に通知された介護保険最新情報Vol.1178とVol.1179)と、適切なケアマネジメント手法基本ケア項目との関連を、一緒に考えていきましょう。今回は11回目です。

課題分析(アセスメント)に関する項目は、No.10から23です。

今回は**No.20標準項目名「社会との関わり」と、適切なケアマネジメント手法基本ケア項目との関連を、一緒に考えます。**



No.20 標準項目名



「社会との関わり」

No.20の「適ケア」基本ケア関連項目は
**5、6、10、14、15、16、17、18、19、29、35、
36、37、38、39、40、41、42、43、44**です。

項目の主な内容(例)

家族等との関わり(家庭内での役割、家族等との関わりの状況(同居でない家族等との関わりを含む)等)、地域との関わり(参加意欲、現在の役割、参加している活動の内容等)、仕事との関わりに関する項目

想定される支援内容

上記番号を確認してください。

関連項目の捉え方

例として「基本ケア項目10 家庭や地域での活動と参加の状況及びその環境の把握の支援」の「相談すべき専門職」を参照し、医師、看護師、PT、OT、ST、社会福祉士・MSW、介護職と協働して関連する項目のアセスメント・モニタリングを実践していただければと思います。

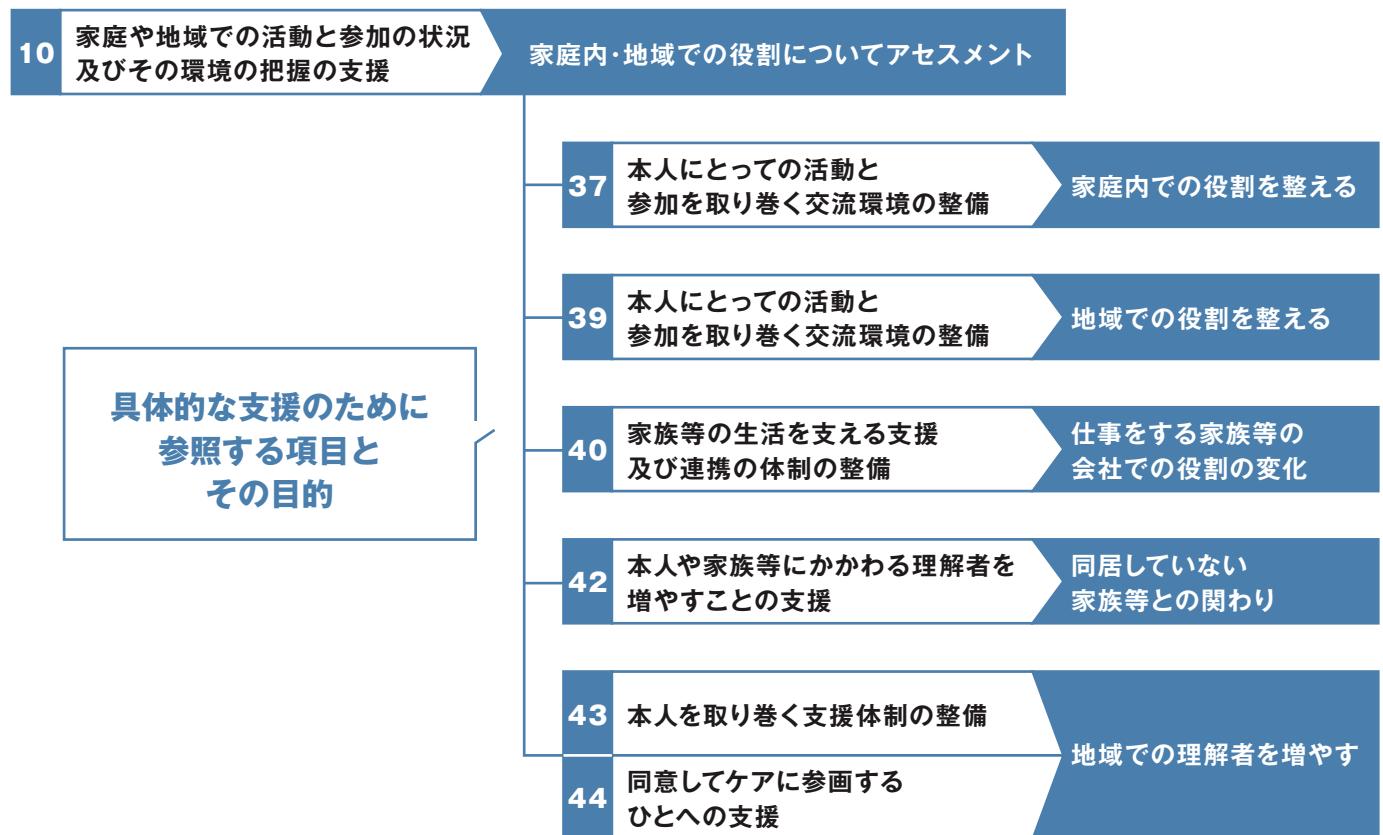
- 本人の状況によらず、できるかぎり地域及び家庭の一員として役割を担い続けられるよう、本人のIADLや社会参加を支援することが重要。具体的な支援を考えるためにもまず、本人がこれまでに培ってきた地域や家庭での役割と、現在の実行状況を把握する必要がある。
- 生活環境と本人の状況が大きく変化する時期のため、本人の日常生活の状況を把握して、専門職が状態の変化を判断できる体制を整備する。

興味関心
チェックシート

関連する適ケア「基本ケア項目5 望む生活・暮らしの意向の把握」は、「わたしのトリセツシート」や、「興味関心チェックシート(右のQRコードからダウンロードできます)」を活用していただければと思います。

家庭内役割・地域での役割

家庭内役割・地域での役割は、基本ケア項目 想定される支援内容**10**でアセスメントを行います。その後、具体的な支援を検討する場合は、**37**で家庭内の役割・**39**で地域での役割を整えるための支援、**40**で仕事をする家族等の会社での役割の変化の支援、**42**で同居していない家族等との関わりの支援、**43・44**で地域での理解者を増やす支援を、それぞれ行います。さらには、本人を取り巻く支援体制の整備等の検討につなげてほしいです。



(参考)
適切なケアマネジメント手法 基本ケア

次回は、「家族等の状況」について、
一緒に考えましょう。



執筆者

木村 隆次

きむらりゅうじ

薬剤師

介護支援専門員指導者一期生

一般社団法人 日本介護支援専門員協会名誉会長

医療・介護連携協働をライフワークに活動中。大学卒業後、製薬会社のMRとして勤務した後、青森市内で薬局を開局。薬剤師として居宅訪問をしていた際、福祉用具と住宅改修に興味をもち没頭。介護支援専門員指導者の一期生。2000年4月から13年間日本薬剤師会常務理事、2010年から2022年まで青森県薬剤師会会長を務めた。2005年11月から日本介護支援専門員協会会長(初代)として厚生労働大臣の諮問機関で介護報酬や介護保険制度を議論する分科会・部会の委員を歴任。現在は、日本介護支援専門員協会名誉会長として自立支援型ケアマネジメントの普及のため後進へ情報発信し育成に努めている。